

平成22年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費

5項 水産業費

境港水産事務所(0859-42-3167)

2目 水産業振興費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
マグロ資源地域活用推進事業	1,106	1,805	△699				1,106	
トータルコスト	6,754千円(前年度 7,605千円)[正職員:0.7人]							
主な業務内容	計画の承認、補助金交付事務など							
工程表の政策目標(指標)	水産物、加工品の付加価値向上、他の食品産業等との連携促進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

日本一の水揚量となっている境港のホンマグロの知名度向上、販売拡大を図ることを目的とした、地域の幅広い関係者の連携による県内外へのPR活動に対し支援を行う。

2 主な事業内容

競合する国内外養殖マグロ等との差別化を図り、境港産天然ホンマグロを県内外にPRするためマグロ生産者団体を中心に地域関係者が実施するPRデザイン作成、商標登録及びデザインを活用したPR資材作成・配布等の取り組みに対して支援を行う。

(単位:千円)

事業名	事業主体	事業内容	事業費	予算額	補助率
(新) マグロPR推進事業	マグロ生産者団体、流通販売業者、飲食業者、観光関係者等で構成するグループ(事務局:山陰旋網漁業協同組合)	・協議会の開催 ・PR活動の実施 (PRデザイン作成、商標登録、デザインを活用したPR資材作成、県内外販売店等への送付等)	1,500	500	1/3
事務費				606	

3 これまでの取組状況、改善点

(1) これまでの取組状況

- ・マグロ研究会の開催 (H19年度～)

マグロの冷凍保存試験やマグロヤケ肉の研究等で得られた知見を幅広く関係者に発信。情報の共有化を図ることにより、資源の有効利用及び品質向上を推進し、市場での境港産マグロの評価は高まっている。

- ・マグロ高付加価値化支援 (H21年度)

水産関係者による小規模流通販売レベルでのマグロの冷凍及び出荷販売試験に対する支援を実施し、境港産冷凍マグロの品質、価格等の市場評価、マグロ冷凍事業の可能性に向けた多くの検討材料を得た。

(2) 改善点

消費地販売業者等からの境港産天然ホンマグロをPRし、他のマグロと差別化すべきという多くの声に応え、関係者が実施するPR活動に対し支援を行う。